



平成 27 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社リロ・ホールディング
代表者名 代表取締役社長 中村 謙一
(コード：8876 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 門田 康
(TEL03-5312-8704)

中期経営計画「第二次オリンピック作戦」策定に関するお知らせ

当社グループは、平成28年3月期を初年度とする4ヵ年（平成28年3月期から平成31年3月期まで）の中期経営計画「第二次オリンピック作戦」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

1. 「第二次オリンピック作戦」の数値目標

最終事業年度（平成31年3月期）における業績目標を、**連結営業収益 2,700 億円、連結経常利益 200 億円**とし、達成に向けて取り組んでまいります。

また、**19 期連続増収、10 期連続最高益更新、16 期連続増配**など連続記録の更新を目指す他、ROEについてはこれまでと同程度の水準を維持できるよう努めてまいります。

各事業年度の業績目標は以下のとおりです。

「第二次オリンピック作戦」

業績目標

(単位：億円)

	実績 第 48 期 平成 27 年 3 月期	目標			最終年度目標
		第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期 平成 31 年 3 月期
連結営業収益	1,600	1,770	1,950	2,300	2,700
連結経常利益	98.6	113	133	164	200

2. 「第一次オリンピック作戦」の結果

当社グループは、現経営陣への体制変更を機に、平成47年3月期までの24年間で「第二の創業」ステージと位置付け、「日本企業が世界で戦うために本業に集中できるよう、本業以外の業務をサポートすること」「真のサムライパワーを発揮できるよう、世界展開を支援すること」と、当社グループの使命を再定義しました。

その上で、平成24年3月期を初年度とする4ヵ年計画「第一次オリンピック作戦」を策定し、使命の実現に向けさまざまな施策を行ってまいりました。

「第一次オリンピック作戦」期間においては、主力事業と非主力事業を分類し、経営資源を主力事業に集中させるべく人員増強、システム開発、M&Aなどに積極投資してきた他、一部のノンコア事業からの撤退や売却なども行ってまいりました。また、セグメント単位での経営管理体制へ移行し、主力事業のストック積み増しに注力した他、関連事業分野の拡充にも積極的に取り組み、主力事業とのシナジーを強化してまいりました。

これらの結果、「第一次オリンピック作戦」で掲げた目標である連結営業収益1,520億円、連結経常利益90億円を超過いたしました。

「第一次オリンピック作戦」

連結経常利益計画と実績

(単位：億円)

				最終年度
	第45期	第46期	第47期	第48期 平成27年3月期
計画	58	67	80	90
実績	60.7	71.4	82.5	98.6
超過額	+2.7	+4.4	+2.5	+8.6

3. 「第二次オリンピック作戦」の事業展開

国内事業：

「日本企業が世界で戦うために本業に集中できるよう、本業以外の業務をサポートすること」を使命とし、人事部や総務部の困り事を解決する福利厚生アウトソーシングサービスを提供しております。「第二次オリンピック作戦」においては、引き続きストック基盤である社宅管理戸数や福利厚生の会員数を積み増し、市場シェアダントツNo.1に向けて4年間で主力事業をさらに強化してまいります。

また、賃貸管理事業については、企業の移転や転勤・転居など人の移動に伴う一切を総合的にサポートできるよう、「全国7ブロック展開」を進め、リロケーションカンパニーとしての機能拡充を図ってまいります。

<借上社宅管理事業>

- 中堅中小企業や地方企業など未開拓市場への進出
- リロネットのユーザビリティ向上＝利用率向上による関連事業分野の収益拡大
- IT投資による業務効率化、ローコストオペレーション体制構築

<賃貸管理事業>

- グループ加入後に利益3倍を実現した賃貸管理事業モデルを、M&Aの活用により全国主要都市へ横展開
- 稼働率向上のためのコンサルティング営業を展開し管理戸数を積み増し
- システムの統合や集中購買による効率化

<福利厚生事業>

- 中堅中小企業への営業再強化と市場シェア向上
- 法定福利厚生分野を含む包括的な大手企業向けサービスの展開
- 利用データを活用したコンサルティング機能の強化
- ホテル事業を始めとするサービスメニュー垂直統合による収益拡大

海外事業：

「真のサムライパワーを発揮できるよう、日本企業の世界展開を支援すること」を使命とし、事業基盤の構築に取り組んでおります。「第二次オリンピック作戦」においては、引き続き創業事業である留守宅管理サービスの管理戸数を積み増す他、法人営業の強化やサービス品質のさらなる向上などにより海外赴任支援世帯数の伸張を図ってまいります。

また、今後はグローバル・リロケーションカンパニーを目指してさらなるサービスコンテンツの追加や海外拠点展開を進め、将来的には、これら海外拠点を通じ、グローバル企業のリロケーションを請け負える体制を構築してまいります。

<海外赴任支援事業>

- リロ・パナソニック エクセルインターナショナル株式会社のノウハウを活用した商品開発やサービス品質の向上
- 法人営業強化による海外赴任支援世帯数の積み増し
- 海外赴任支援サービスと海外現地サービスの連携強化
- 北米における現地での赴任期間中サポートサービス拡充
- アジアなど北米以外の地域へのビジネスモデル水平展開

4. 投資および株主還元

「第二次オリンピック作戦」はもとより、「第二の創業」ステージにおけるわが社の使命実現に向け、主力事業のストック積み増し、賃貸管理事業の全国7ブロック展開、シナジーが見込まれる関連事業分野の拡充などに積極的な投資を実行してまいります。

なお、当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題の一つとして捉え、30%前後の配当性向を目安に連結業績に連動した配当とすることを基本方針としております。また、ストックビジネスの特性を活かして安定的な業績向上を実現し、さらなる連続増配記録の更新を目指してまいります。

引き続き、将来に向けた成長投資と株主還元のバランスをとりながら、継続的な企業価値増大に取り組んでまいります。

以 上